

# ひたすら前向きに！

## ▲当社設立の経緯

私は、昭和34年9月生まれで、今年59歳になりました。出身地は神奈川県横須賀市です。岩手県には平成8年2月、36歳の時に初めて来ました。家族は妻と子供、娘2人と息子1人の5人家族でした。1年目は単身で北上に住み、2年目から盛岡に家を建てて家族を呼んで住みました。今、息子は会社に入って修業中です。

私の会社は株式会社TSDと言います。場所は花巻市石鳥谷町八重畑で、平成8（1996）年4月の創業です。現在、派遣も含めた従業員140名程の体制で、半導体製造装置関連の製造業務を行っております。

会社設立の経緯を簡単に説明します。私が神奈川県に居た時の会社も製造会社でした。ある時期に栄電子と言う商社と業務提携をしました。商社も部品だけ売っていても利幅が少ない為に商売にならず、ユニットとして完

成品を売り込む戦略に変わって行きました。

そこで、製品を作り品質保証する我々の会社を必要とした一方で、我々の会社でも営業して歩かなくても仕事を受注出来る様になり、双方のメリットが合致しての業務提携でした。そんな中で取引が始まった現在の当社の主要取引先の生産拠点が神奈川県相模原市から岩手県江刺市（現在の奥州市江刺）に移ること、このことで、当社も岩手県に進出してきた次第です。

当初、〇〇会社岩手工場でスタートすることも検討しましたが、行政の方から、県の誘致企業として、出来れば現地法人にして欲しいと要望があり、お客さんに対しても栄電子と言う名前が入っていた方が営業展開しやすかった為、設立当初は「株式会社栄電子」という商号でスタートしました。「栄電子」の文字が入っていますが、同社との資本関係はなく、今でも普通に取引をしています。その後、

平成18（2006）年に花巻の市町村合併があったのを機に「東北栄電子」の頭文字を取り「TSD」に商号変更しました。



株式会社TSD  
(花巻市)  
代表取締役

河 辺 幹 男

## ▲岩手の地で一人でのスタート

会社の設立当初は、設備資金を借入れで賄い、いわばマイナスからのスタートでしたが、お客さまに恵まれ、そして従業員にも恵まれ、私が岩手に来て23年目、会社も23期目に入っていますが、お陰さまで業績も順調に推移しております。

家族に迷惑を掛ける部分もありますが、私の感覚は日本全国何処で仕事しても全くOKです。岩手県に来る不安感は今もなく、むしろ知らない土地で一からやれるということに喜びを感じた位です。不安といえば、横須賀とか横浜は殆ど雪が降ることが無いので、雪道や凍っている道路を運転することくらいでした。当時たった一人で来た時は、「私は誰のこ

とも知らない」「誰も私のことを知らない」というシチュエーションでしたが、逆に今まではない自分を出せることが出来て、とてもやりがいを感じました。

会社設立を前にハローワークに求人を出し、○月○日に合同面接会を開く旨を掲載しましたが、当初は10人位で始めようと考えていましたが、面接には40名程の方が集まってくれました。1時間程度の会社説明をして、希望があれば個別に面接する旨を伝えたら、結局全員が個別の面接に応じました。誰一人として知っている人はいないなかで、10人だけ選ぶのは難しく、結果的に入社したい人全員を採用することになりました。4月1日に入社式を行い、35名でのスタートでした。当時私は36歳でしたが、年齢的には殆ど上の方で、従業員の平均年齢は28歳位だったと思います。当時の創業メンバーが中心となり、今も会社を動かしています。

今振り返ると、会社を始めてから最初の1年間がもの凄く充実した1年で、駆け出しでしたが誰にも負けないつもりで少しでも地域に貢献出来る様にと、一生懸命頑張りました。今でこそ色々な会や団体に加入していますが、設立から3年間ほどは、どの会にも入らずひたすら仕事をすることに専念しました。最初から家族を呼ばなかったのはそこらの事情もあります。知らない土地に来て、私自身がほったらかしていたら可哀想で申し訳ありません。いずれにしても、現状に決して満足し

ないで、中長期的に先を見据えて会社経営に取組んで行かなければなりません。数年後に息子に上手くバトンタッチ出来る様に、今から色々準備をしている所です。

「顧客満足度」とともに「従業員満足度」を高める

会社の基本方針として「仕事は断らない」があり、「出来ない理由を言うよりも、どうしたら出来るか」を第一に考え、どこの会社にもない特色を出し、お客様の痒い所に手が届く様な会社にして信頼を勝ち取っていくことが大切だと思っております。

昨今、いろんな意味で人手不足が深刻な問題となっております。当社の仕事は殆どが手



花巻市石鳥谷町の本社・工場全景

作業で行っており、生産設備を駆使して生産性を高めていくといった仕事ではありません。そういった意味で、業界が忙しい時は人手の確保が必須条件となります。仕事が落ち着いている時は若干人手が余る傾向にあります。体制を維持して次の増産に備えていかなければなりません。

私は従業員が「大きな良い会社に勤めている」のではなく、「小さな会社だけど、俺が勤めている良い会社」と、外で胸を張って言える様な会社づくりを目指してきました。会社は製造業ですが、体育会系の「乗り」も入れて、「気合を入れて明るく元気に前向きに」をモットーにやっています。待遇面だけでなく、色々なイベントを企画し福利厚生面も充実させて、少しでも従業員にとって働きやすい環境づくりを日々考えております。従業員の離職率は非常に低く、ある程度従業員の会社に対する満足度は高いのではないかと考えております。また、海外(タイ)からの技能実習生の受け入れも行っており、多少なりとも国際貢献・社会貢献のできる会社へと成長を図ってきています。

創業時、工場は一つでしたが、平成18年に別棟を建て、今年を増産に対応するため増築をし、来年は更に別棟を建て拡張していく予定です。

繰り返しになりますが、経営をしっかりとし、お客様にも従業員にも更に満足して貰える会社になりたいと思います。